

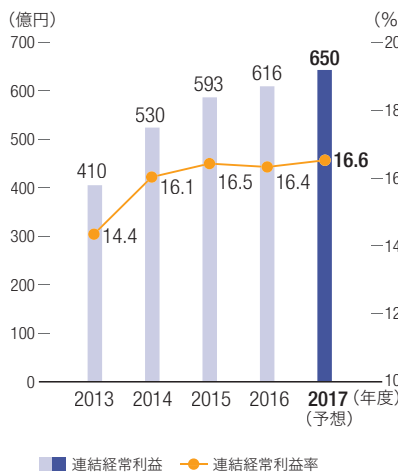
当期の概要

- 経常収益は、国内において、クレジットカード利用でのポイント特典を強化したことにより、順調に拡大しました。国際では、為替が円高に推移し161億円のマイナス影響を受けたことにより、前年を下回りました。その結果、連結経常収益は3,751億円(前期比104%)となりました。
- 経常利益は、国際の件費抑制、貸倒関連費用の削減が計画を下回って推移したことに加え、円高によるマイナス影響33億円があったものの、国内においてローコストオペレーションに努めたことにより、連結経常利益は616億円(前期比104%)となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社の税効果等により、税金費用が減少し394億円(前期比110%)、連結自己資本利益率は12.4%となりました。
- 2016年9月に、お客さまの利便性や生産性の向上、審査・債権管理の効率化による資産収益性の改善を目的としたシステム(IT)/デジタル化投資のため、公募増資および転換社債の発行による資金調達(約600億円)を実施しました。また、債権流動化、格付取得によるリスクアセットの抑制により、連結自己資本比率(国内基準)は8.5%(期首比+1.1pt)と改善しました。

連結経常収益



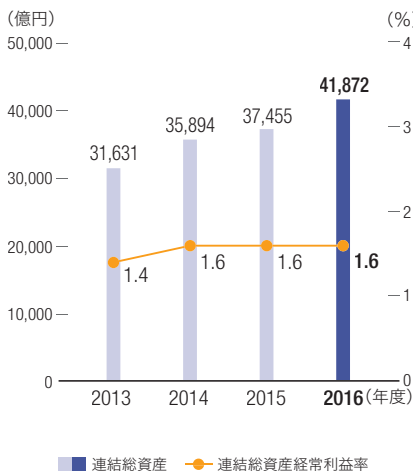
連結経常利益・連結経常利益率



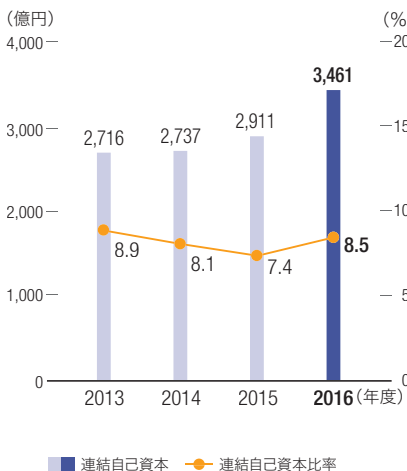
親会社株主に帰属する当期純利益・連結自己資本利益率



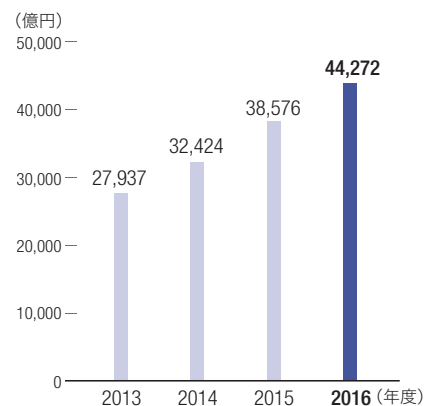
連結総資産・連結総資産経常利益率



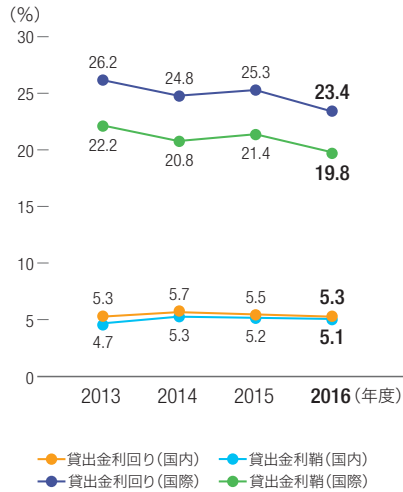
連結自己資本・連結自己資本比率(国内基準)



連結営業債権残高(債権流動化前)



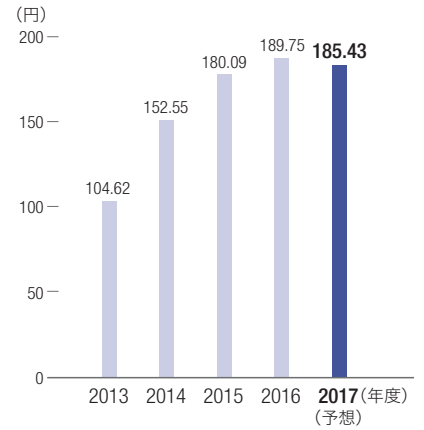
貸出金利回り・貸出金利鞘
(国内・国際)



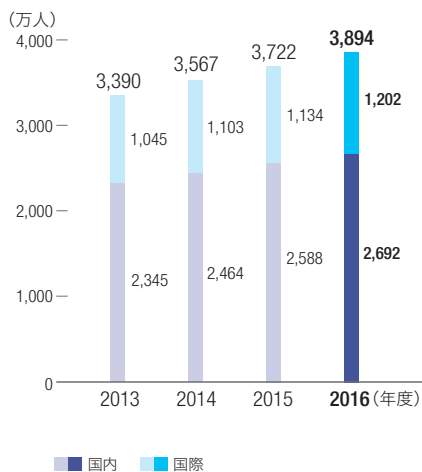
1株当たり配当金・配当性向



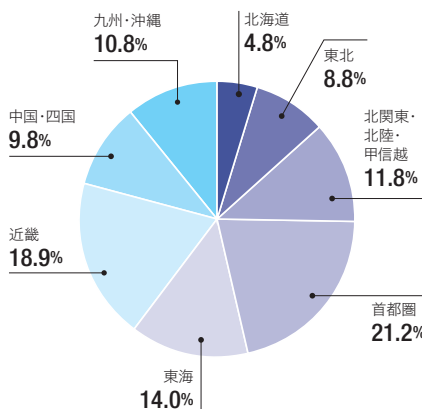
1株当たり当期純利益



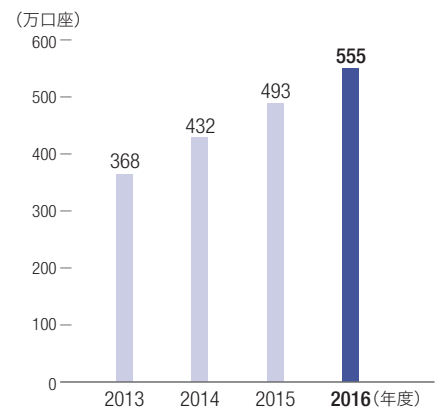
連結有効会員数



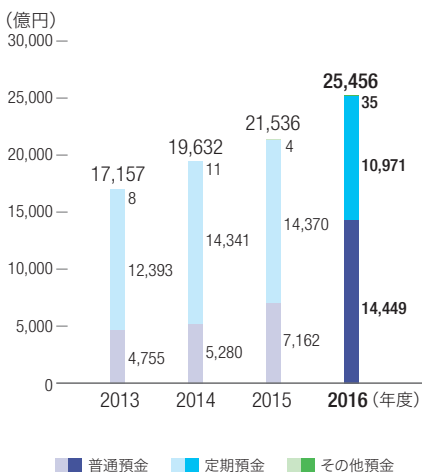
国内有効会員 地域別構成比率



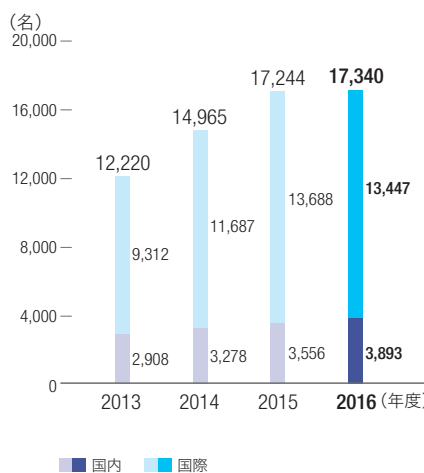
イオン銀行口座数



イオン銀行預金残高



連結会社における従業員数



連結会社における女性管理職比率

